

自動車事業部門

重点市場である北米の販売好調などにより上半期として初の50万台突破

国内の登録車につきましては、「レヴォーグ」の販売が減少したものの、「フォレスター」などの販売が好調に推移したことにより、売上台数は5.2万台と前年同期比0.3万台(5.3%)の増加となりました。一方、軽自動車につきましては、昨年からの軽自動車税増税の影響などにより、1.6万台と前年同期比0.1万台(6.8%)の減少となりました。これらの結果、国内における売上台数の合計は6.8万台と前年同期比0.2万台(2.3%)の増加となりました。

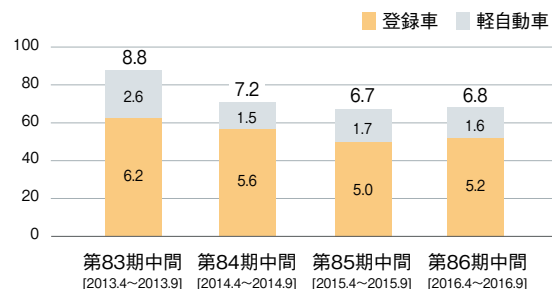
海外につきましては、当社の重点市場である北米において「アウトバック」などの販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は44.4万台と前年同期比3.8万台(9.4%)の増加となりました。

地域別の売上台数は、北米で35.5万台と前年同期比3.9万台(12.2%)の増加、ロシアを含む欧州で2.2万台と前年同期比0.1万台(3.9%)の減少、豪州で2.2万台と前年同期比0.1万台(2.5%)の減少、中国で2.2万台と前年同期比0.1万台(6.2%)の増加、その他地域で前年同期並みの2.2万台となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は、第2四半期連結累計期間において過去最高となる51.2万台と前年同期比4.0万台(8.4%)の増加となったものの、為替変動の影響により、全体の売上高は、1兆4,924億円と前年同期比133億円(0.9%)の減収となりました。また、セグメント利益につきましては、為替変動及びエアバッグインフレータに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加の影響により、2,033億円と前年同期比699億円(25.6%)の減益となりました。

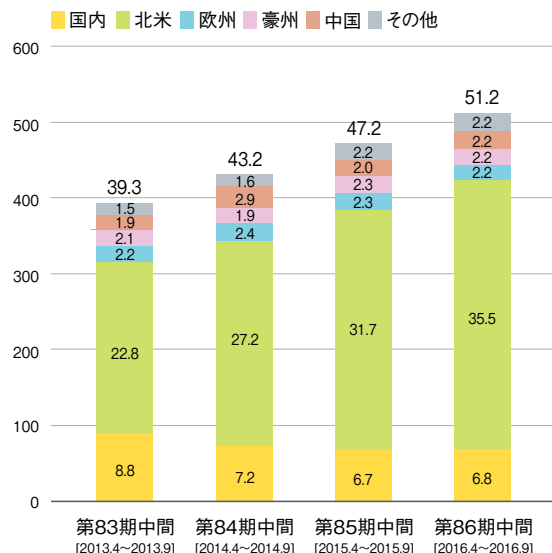
● 売上台数の推移(国内)

(単位:万台)



● 売上台数の推移(世界)

(単位:万台)



※台数表示は千台未満四捨五入

## 航空宇宙事業部門

## ボーイング787の生産は増加したものの為替影響などにより減収減益

防衛省向け製品では、回転翼機の生産が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

民間向け製品では、「ボーイング787」の生産が増加したものの、為替変動の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は668億円と前年同期比67億円(9.1%)の減収となりました。セグメント利益につきましても、36億円と前年同期比60億円(62.7%)の減益となりました。

## 産業機器事業部門

## 北米向け販売の減少により減収減益

北米向けレジャービークル用エンジンの販売が減少したことにより、売上高は146億円と前年同期比39億円

(20.8%)の減収となりました。セグメント損失につきましても、前年同期比9億円減益の3億円の損失となりました。

## ● 部門別売上高の推移

(単位:億円)

